

# 読むこと②

## 第2学年

場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えること

**つまずきの実態**  
 ～こんな生徒の姿が見られませんか？～

場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。  
 (物語全体のつながりやキーワードをとらえられることができていない)

メロスが再び走り始めたのは、なぜでしょうか。

ここでやめたら、セリヌンティウスを裏切ることになるからかな。

自分の名誉を守るために走っているのだと思う。

セリヌンティウスを殺されたくないから。

### 実践の概要

単元名 描写を味わう 『走れメロス』 東京書籍

- 目標** 再び走り始めたメロスの様子をとらえ、走り続けることの意味について考える。
- 内容**
- ・「再び走り始めた場面」の音読を繰り返し、再び走り始めたメロスの姿がどのように描かれているかをとらえる。
  - ・「メロスは何のために走るのか」、走り続けることの意味を考える。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第3学年	関係を解く	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	描写を味わう	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	作品を読み解く	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

### 単元末の目指す姿

- ・音読と発問について考えることを繰り返し、場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスと王の人物像や、考え方の変化をとらえることができる。
- ・発問に対する友達の意見をメモしながら聞くことで、新たな視点を持ち、さらに自分の考えに説得力をもたせようと、文章（物語）全体をとらえ直すことができる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

登場人物の行為の意味について、根拠を示しながら考えを書く活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 文章描写から想像力をはたらかせて自分の考えを表現させる。

ここが  
ポイント

- 「メロスは何のために走っているのか。」等、主人公の行為の意味を「何のために」と問うことで、根拠に基づいて説明する必要性をもたせる。
- 各場面の登場人物の行動とその際の心情を比較させ、場面ごとの変化やつながりを意識させながら、自分の考えを書くように指示する。

### 登場人物の行為の意味を考える



「大きなもののために走っている」の「大きなもの」は、互いの信頼だと思う。最初は単純な正義感からだったと思うけど、弱い自分と戦ううちに、メロス自身も成長してきていると思う。

#### (期待される生徒の姿)

- 行動描写だけでなく、場面の展開も根拠にしなが、登場人物の行為の意味を考えることができる。
- 「5行で書こう」などと、書く分量を指示することで、行為の意味を端的にとらえることができるようになる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

登場人物の行為の意味について考えたことを、ペアやクラス全体で交流し、自分の考えと比較させる。

活動のねらい▶ 個々の生徒の読みを学級全体の読みへと広げていき、さらに思考を深める。

ここが  
ポイント

- 「自分の根拠と理由が合っているか」「場面ごとの変化やつながりに基づいているか」など、交流する際の視点を示すようにする。
  - 自分の考えと比較しながら聞き、発表を聞きながら加筆するよう指示する。
- ※個々の生徒の読みの共通点や相違点を比較させ、学級全体の読みに広げ深めるため、必要に応じて意図的に指名発表をする。

### 全体での交流



「信実」「友情」「信頼」、どれも、メロスの中で何度も揺れ動いている中で湧き上がってきた思いというのは共通しているな。

#### 座席表を用いた 「学びを深めるキーワードの記録」



#### (期待される生徒の姿)

根拠となる描写等、友達から新たな視点を得ることができる。視点に基づいて発表を聞き合うことで、登場人物の行為の意味について、根拠となる表現をより意識できるようになる。